

授業科目名	共生とメディア	単位数	2
担当教員名	天野 一哉	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
・共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。			
・問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。			
・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。			
・共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ			
共生とメディアの関係性、共生社会の構築にメディアをどう活用するか、問題点は何かを考え、メディアリテラシーのスキルを身につける。			
授業の概要			
テキストおよび教員からの問題提起をもとに、同学と対話し、上の「授業の到達目標及びテーマ」を考察し、自己の考えをまとめる。			
授業計画			
第1回：メディアとは何か			
第2回：メディアと世論			
第3回：メディアと報道			
第4回：メディアと社会			
第5回：共生とメディアをどうとらえるか			
第6回：メディアリテラシーをどうとらえるか			
第7回：メディアと主権者教育をどうとらえるか			
第8回：課題設定（自己）			
第9回：課題設定（グループワーク）			
第10回：仮説立案（グループワーク）			
第11回：調査（グループワーク）			
第12回：分析/考察（グループワーク）			
第13回：プレゼンテーション（グループワーク）			
第14回：省察			
第15回：展望			
定期試験			

スクーリングでの学修内容

第1回から第7回（自己学習）までの総括。教員からの問題提起を踏まえ、第8回から第13回までをグループワークによって実施する。

教科書

高橋 源一郎ほか（2018）『メディアと私たち』NHK 出版

参考文献

各自で「共生とメディア」および自己のテーマに関する学術的専門書・論文を選択し、熟読熟考すること。

学生に対する評価

スクーリング評価（30％）、レポート評価（25％）、科目修得試験（45％）を総合して評価する。